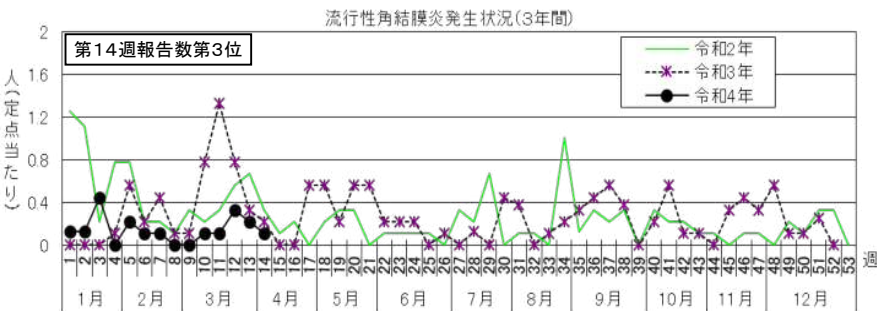
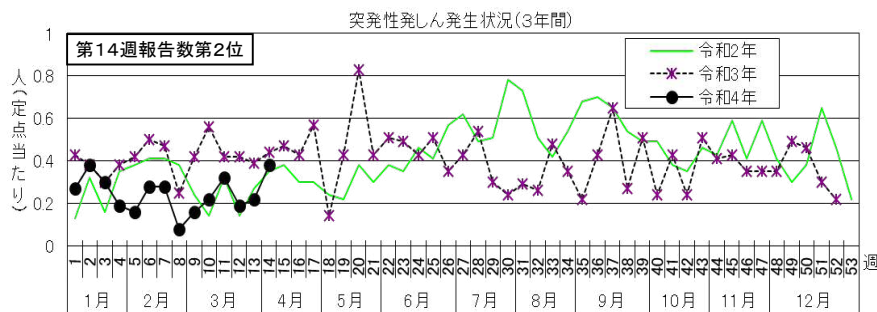
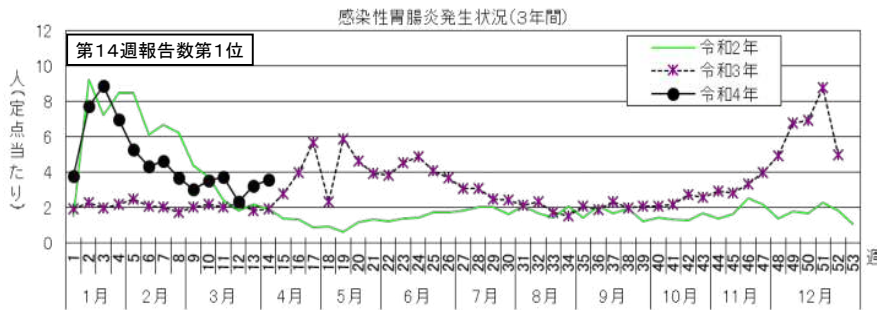


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年4月4日（月）～令和4年4月10日（日）〔令和4年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 突発性発しん 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.57人と前週(3.22人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.38人と前週(0.22人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.11人と前週(0.22人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



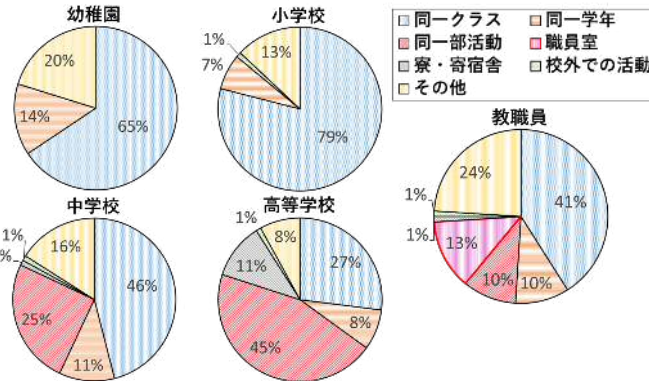
新型コロナウイルス感染症～学校等での予防対策～

新学期が始まり、子ども同士が接触する機会も増えてきました。児童生徒等における新型コロナウイルス感染症の感染経路は、家庭内が最も多いとされていますが、学校内での感染も一定程度報告されています。

学校内感染のうち、同一クラスでの感染は幼稚園では65%、小学校では79%と多くを占めるものの、中学校や高等学校になると同一部活動での感染が25%、45%と多くなります。また、教職員は教室内や部活動だけでなく、職員室での感染も13%認められます。

学校内では、学校や年齢ごとの特徴を踏まえて、各自が有効な対策を講じましょう。

全国における児童生徒等及び教職員の学校内感染経路の詳細
 (令和4年1月1日～2月28日)



文部科学省：学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2022.4.1 Ver.8)より作成

